

8全教研連第7号
令和8年5月8日

全国教育研究所連盟加盟機関の長 様

全国教育研究所連盟委員長
(国立教育政策研究所長) 森田 正信

令和8年度全国教育研究所連盟研究発表大会(富山大会)の
開催について(最終案内)

若葉の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、かねてから当連盟の事業に御理解と御協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、標記の令和8年度全国教育研究所連盟研究発表大会(富山大会)について、下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員の皆様の御参加をお願い申し上げます。

記

- 1 主催
全国教育研究所連盟
- 2 開催担当機関
富山県総合教育センター
- 3 期日
令和8年6月5日(金)
- 4 開催方法
Web会議システムZoomによるオンライン開催

5 日程

9:15	9:30	10:50	11:00	12:10	13:10	14:20	14:30	15:05	15:20	15:50	15:55
開 会 式	講演会 (80分)	休 憩	研究発表 2機関 (35分×2=70分)	休 憩	研究発表 2機関 (35分×2=70分)	休 憩	研究発表 1機関 (35分)	講 評 (15分)	情 報 提 供 (国研) (30分)	閉 会 式	

6 講演会

演題 「世界の教育はどこへ向かうか」

講師 東京科学大学 理事・副学長 白井 俊 氏

7 講評

国立教育政策研究所教育データサイエンスセンター長 増子 則義 氏

8 情報提供

国立教育政策研究所教育データサイエンスセンター長 増子 則義 氏

9 発表機関

発表動画視聴(20分) Slido入力(5分) 質疑応答(10分)

発題	発表機関	発表題	発表内容
1	開善塾 教育相談研究所	学校復帰を目指した不登校児童生徒のアウトリーチを展開するために	教育委員会や学校との連携により、一人一人の子どもの状態に合わせて、家庭訪問や保護者面談を展開できれば、子ども達の学校復帰につながることを実感している。家庭訪問では、どのような点に留意すればよいか、学校の受け入れ体制で必要なことは何か、さらに生徒指導・教育相談の学びの必要性について提言したい。
2	北海道立 教育研究所	STEAM教育の観点による探究的な学習の充実に関する研究	地域課題探究をテーマとした科目において、生徒が探究活動に主体的に取り組む態度の育成に向け、生徒が「STEAM」を意識しながら学習に取り組むことのできる仕掛けづくり(教材開発等)や、調査データ等を活用した探究活動の充実による生徒の変容の可視化に取り組んだ。
3	岩手県立総合 教育センター	新たな教師の学びの実現に向けた教育センターの在り方ーこれまでの研修システムの総括と新たな研修モデルの構築を通してー	初任者から3年目までの教員を対象とする自己研修の研修モデルの再構築に取り組んだ2年間の実践研究である。研修者が成長を自覚できるよう、目指す研修者像の具体化、講座構成の見直し、研修指導主事のファシリテーションスキル向上に取り組み、「研修観の転換」を組織的に推進した成果を報告する。
4	京都府総合 教育センター	「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて ～研修観の転換を図る「探究型」教職員研修の開発と実施～	令和6年度から京都府が実施している探究型研修「探究的な学び講座シリーズ」が、受講者にとってどのような学びであったのか、その学びは受講者にどのような成長の契機となったのか、受講者の報告やリフレクションシート、ファシリテーターの見取りを基に分析することで言語化した探究の意義や価値をセンターの探究記録として発表する。
5	富山県総合 教育センター	児童生徒理解を深める教育相談の在り方に関する調査研究 - 児童生徒理解の視点に立った教育相談につながる支援シートの提案 -	定期相談は児童生徒理解の重要な機会だが、調査から、悩みの把握や解決を目指す教師の目的意識と、期待と緊張が交錯する児童生徒の心情との「ずれ」が明らかとなり、心理的負担を生んでいることが分かった。本発表では、教師の省察と児童生徒の視点に立つことを支える「定期相談サポートシート集」作成と改善の経過を報告し、シート集を活用した15分程度で実施可能な校内研修プランを併せて提案する。

10 参加申込みについて

(1) 申込方法

下記申込みフォームにて、参加者お一人につき一つずつご入力ください。

令和8年度 全国教育研究所連盟 研究発表大会【富山大会】

最終案内申込フォーム <https://forms.gle/ej6BRajNPltNsk86>



(2) 参加申込期限

令和8年5月25日(月)

11 参加費等

無料

12 その他

(1) 本大会はWeb会議システム「Zoom」を使用して開催します。

(2) システムへの参加方法等、詳細については、5月下旬に、参加登録いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。

(3) 定員(500名)を超えた場合、参加できないことがあります。

13 問合せ先

担当機関	担当者	連絡先
富山大会事務局 富山県総合教育センター	田辺 堀内	TEL：076-444-6163 Email: sogokyoiku@ed.pref.toyama.jp
全国教育研究所連盟 事務局 国立教育政策研究所 総務部研究支援課	笠原 滝沢	TEL：03-6733-6812 Email: zenkyou@mext.go.jp